

市民と協働のまちづくり元年



総社市議会議長
服部 剛司



総社市長
竹内 洋二

新年のごあいさつ

市民の皆様方には、平成19年の輝かしい新春をお健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。

景気はゆるやかに回復していると言われておりますが、地方自治体にとりましては依然として厳しい財政状況にあります。私も全国市議会議長会の評議員として国に対し、真の地方分権実現に向けた国の制度改革、市町村合併に対する財政支援措置、地方税法の改正などを地方六団体とともに強く要望いたしております。

このような状況のもと、昨年の9月議会では本市の今後10年間の方向づける総合計画基本構想を議決いたしました。この構想は、本市の新しいまちづくりの実現に向けて計画的、総合的な市勢発展を図るものであります。厳しい財政危機のもと、限られた予算で、さらに効率的な質の高い市政の実現を目指し、市民の皆様方と対話をしながら、活力ある地域社会の実現と住みよいまちづくりに向けて、議会も全力で取りんでいく覚悟であります。

今後とも、何とぞ変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成19年の新春を迎え、ご家族おそろいで健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

昨年は、本市の名誉市民でかな書家の高木聖鶴先生が文化功労者に選ばれ、故橋本龍太郎先生が名誉市民に推たいされました。また、雪舟没後500年の節目の年ということで、金山寺(中国・鎮江市)への訪問や墨彩画公募展など、雪舟さんの顕彰もさまざまな形で行われました。さらに、「れんげ」「もみじ」「タンチョウ」が市の花・木・鳥となり、市民憲章も制定されました。

今年は、市民と協働のまちづくり元年といえると思います。総社市の今後10年間の指針となる「第1次総社市総合計画」が昨年まとまりました。地方自治体を取り巻く諸情勢は依然として厳しいものがありますが、市民の皆さんと行政が力を合わせてまちづくりを進めていくことができるよう全力で取り組んでまいります。さらに、引き続き「本物志向のまちづくり」に取り組んでまいります。

本年が皆様方にとりまして幸多き年となりますよう、心からお祈りいたしまして、年頭にあたってのごあいさつといたします。

地域文化 自然が支える 心豊かな生活交流都市

特集●第1次総社市総合計画

平成27年度までの総社市のまちづくりの指針となる「第1次総社市総合計画」がまとまりました。将来都市像は「地域・文化・自然が支える心豊かな生活交流都市」です。今月号にとり込んで「第1次総社市総合計画概要版」とともにご覧ください。

写真：総社市街を西から眺める。中央の大きな道路が4車線の東総社中原本線